

クイズでこうつうあんぜん

家族みんなでお考えよう 交通安全!!

いよいよ新入学のシーズンです。新入学児は希望に胸をふくらませ、その日の来るのを待ち望んでいることでしょう。

春になって暖かくなると、子どもたちは待っていたかのように

に家の外で遊び始めます。また、小学生になると今まで歩いたことのない道路を通行する機会も多くなり、当然親の手元から離れて活動する時間も増えてきます。この時期、特に気を付けていたただかな

ければならないのは交通事故です。そこで、ぜひ考えてください。そして身に付けさせてください。子どもたちへ「交通道徳」を。

クイズ1

どうろを あるくとき、ともだちと ふざけっこをしたり ひろがってあるいている (よい、わるい)



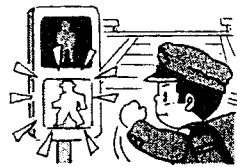
クイズ2

どうろが こんでいるし、じどうしゃが いっぱいとまっているので、じどうしゃのあいだを とおって ちかみちをして どうろを わたっている (よい、わるい)



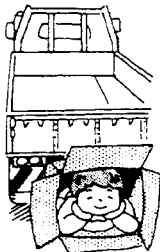
クイズ3

ほこうしゃようの あおしんごうが ついたり きえたりしていたとき、いそいでわたろうとしている (よい、わるい)

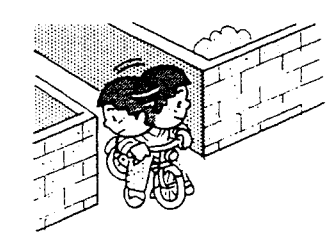


クイズ5

かくれんぼでトラックの したにある ダンボールに かくれている (よい、わるい)

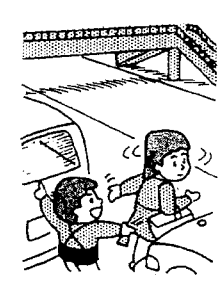


クイズ4



じてんしゃで せまいみちからひろいみちにでるとき、いそいでいだけれど いったんとまってみぎ、ひだりのあんぜんをよくたしかめて ふといみちに しようとしている (よい、わるい)

クイズ6



おかあさんは、ちかくに おうだんほどうきようが あるのに、そこをわたらず くるまがたくさんはしっている どうろを わたろうとした。ほくは "おうだんほどうきようを わたろうよ" といった (よい、わるい)

※答えとお母さんへの解説は5ページに掲載してあります。

新入学児童のお父さん・お母さんへのメッセージ

子どもを小学校に入学させる時一番気を付けることを考えてみました。それは今までの家庭教育とこれからの学校教育はちがうということです。そのちがいを考えてみましょう。

一、まず基本としては、学校の教育は明確な教育目標を持っているということです。家庭教育では、かなり留意している家でも、学校教育ほどの目標はもっていません。

二、家庭教育では、親・兄弟など、無意識に身につけなどが行われますが、学校は先生によって、学級の中で計画的に意識して教育が行われます。

三、ですから家庭では、時間割などはありませんが、学校では時間割によって、時間刻みの教育が行われます。

四、家族の中ではその場の雰囲気とか気持による生活が中心です。学校ではきまりによる教育が中心です。

五、家庭の間関係は、情のおもむくまま、無遠慮な、という面が多いのですが、学校は組織的で学級という集団でかなりの管理的な面がおおくなります。

六、学校では教える人、先生

がいますが、家では、母であり、父であり、祖父母であり、兄弟です。つまり特定の人ではないということです。

七、その上、学校では、国語・算数などの教科、道徳、特別活動など非常に計画的に指導します。

入学する子にとっては、家で無意識・無計画に身につけられた子が、学校という目的を持った、計画的な集団に入るので大変です。

学級の中に早くなじめる子、なかなかなじめない子があるのです。これは個人差があるからです。一年生の一学期に体重が増えない子、減る子があります。これは学級になじむことが大変だということを示しているのです。

そこで入学に当たっては、子どもに急かせないことが大切です。文字を書けなくても、教が教えられなくても、給食のことでも、しつけのことも急かせないようになりたいのです。学校生活に早くなじませたい、早く勉強ができるようになると急がせるといういろいろ後に問題がでてくるのです。

ゆっくり、ゆっくりと焦らないで集団になじむようにしたいものです。これから少なくとも九年間も学校へ行くのですから。